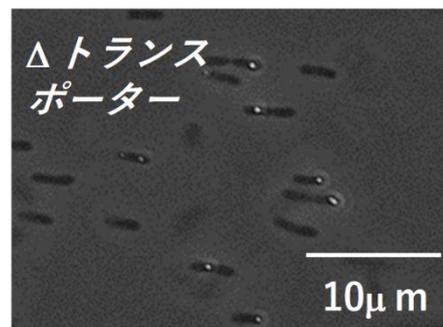
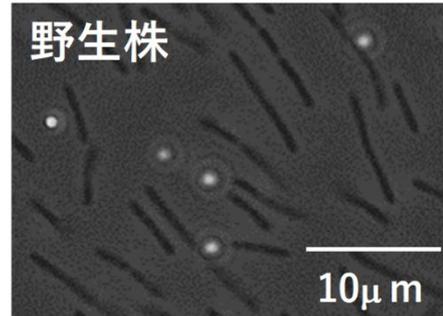
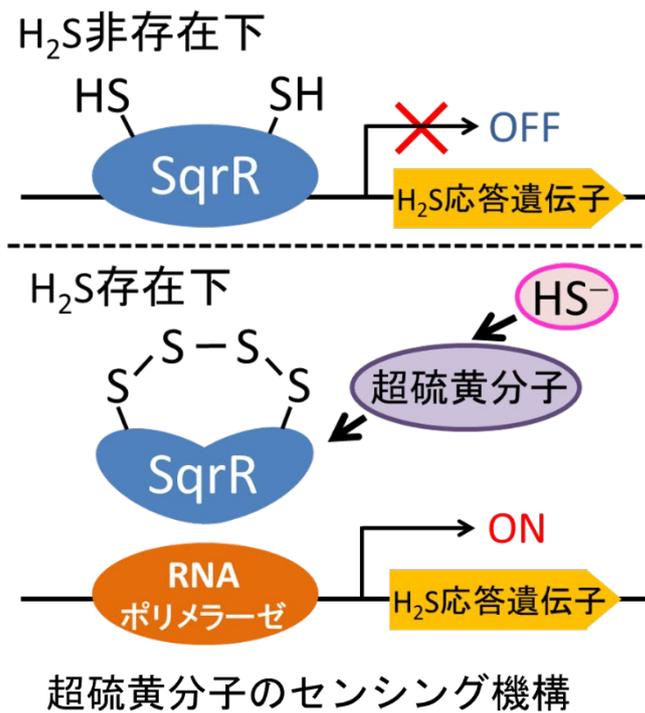


「超硫黄分子」を考慮した新しいシグナル制御機構から 生命現象を理解する

生物科学コース 清水 隆之



硫黄顆粒の顕微鏡観察

すべての生物は、レドックス（酸化還元）反応に基づいて生きています。

当研究室では、「超硫黄分子」と呼ばれるレドックス活性分子に着目して、生命現象を理解することを目指しています。

光合成生物を材料として、超硫黄分子がどのように細胞内で産生・検知・利用されているのか、国内外の研究機関と連携してさまざまな解析手法を用いて研究しています。

さまざまな疾病の新たな治療法開発や、農作物の生産力向上にむけた超硫黄分子のユニークな活用方法の開発も見据えて研究を行っています。

キーワード：転写調節、硫黄代謝物、システイン修飾、葉緑体形成